

ご召天

森 勉 牧師

2016年9月16日

84歳

牛島 治子 姉

牛島義明牧師夫人

2016年11月18日

95歳

エドワード・エスキルセン 宣教師

2016年11月28日

89歳

泉 洋子 姉

婦人会連盟19期会長

2017年1月3日

84歳

長年にわたるご奉仕に感謝します。
ご家族の皆様の上に主の慰めがあります
ようにお祈り申し上げます。



投稿欄

会報153号の発題「信仰の継承」という言葉に変えて「信仰の共有(信仰を共有する)」とする対象は老若男女いずれでも良いし関係性も対等となるのではないだろうか を読んで、*「信仰継承」は「共有」という表現が、ふさわしくないか、という考え方がありました。

私は、①信仰継承と②信仰共有では、意味合いが異なると思います。

①は、継承の目的をしつかり持っている。②は、分かち合うイメージを持つが、継承する目的は分らない。

信仰を継承していくことにおいては、やっぱり信仰継承という言葉だと思えます。

そして、言葉以上に中身ですが、何を語るか、祈りの中で神様からいただいくよりないと思えます。祈る時、必死になります。信仰継承は、必死なものだと思います。御言葉ひとつでさえ従えない、或いは従わざる得ない中で、苦しみ、悩んで、祈って、その繰り返しの何かが、伝わるのだと信じています。

(シオン教会 水原久美子)

頂いたお手紙の一部を紹介いたします。

*女性会連盟がサバ神学院に支援していることを知った「NRK女性の集い」元会長が海外に目を向け「ベトナムの貧しい村に小学校を」の働きが持てたことのご感謝をと、長くサバに献金して下さっていただきます。市谷教会壮年会もサバ支援に協力し献金して下さっています。

このように目に見えない祈りがそれぞれの働きのなかにあります。それが連盟だと私は思っています。いろいろなお声

があるとありますが、届かない支えの声を大切にしたいと思えます。

投稿先

投稿先：会長
e-mail: miedet@yahoo. co. jp
〒422 - 8027
静岡市駿河区豊田 1-4-43-25
芳賀美江
字数：300字以内
投稿者のご氏名、教会名、連絡先を記名の上、お送りください。

会報153号 訂正とお詫び

- ・7ページ シオン教会益田礼拝所 (山口県北部) (誤) ↓ (島根県) (正)
- ・12ページ ルター生誕500年 (誤) ↓ 宗教改革500年 (正)

訂正してお詫びいたします。

編集後記

最近、この世での悲しんだり、怒りたくなるニュースを知る度「主ならどうされるだろう」と思います。どうぞ「平和」でありますようにと祈るばかりです。

柳井 悦子